

# かるた大会を行いました

中学1年生徒全員が参加し、かるた大会を行いました。国語の授業で習った知識をもち、自学・友人との練習などを経て、チーム対抗でどれだけ多くの札をとることができるか競いました。

当日は、それまでの各個人の努力やチームプレーで出来る限りの力を出し切ることができたようです。

以下、生徒の感想をお伝えいたします。

私はこの学校に入学して、国語の古典の授業が始まったときから、今日の百人一首大会をととても楽しみにしていました。なぜなら、私は小学生のときから百人一首が大好きだったからです。その頃は百人一首の1つひとつにこめられた思いや掛語などの工夫を理解してはいませんでした。この中1の古典の授業を通して私の学びたかったことが学べてうれしかったです。

その思いを胸に、今日のかるた大会に臨みました。結果、多くの札を取ることができ、チームの力になれたかなと感じました。この大会は私のなかで忘れられない大切な思い出となりました。

Y.Y.

「花の色は うつりにけりな いたすらに わが身よにふる ながめせしまに」  
「ちはやぶる 神代も聞かず 龍田川 からくれなゐに 水くくるとは」

私は、最初から「この札だけはとりたい」と思っていました。それ以外にも5枚ほど取りたい（というより取れる）札はありましたが、この2枚に集中しました。なぜこの2枚かというと、1札目は共感できるからで、2札目は百首の中で一番親しみ深いからです。（「ちはやぶる」という漫画で）どちらの札とも、見事に取りることができ、とても嬉しかったです。班の人とより仲良くなれて楽しかったです。またやってみたいです！

N.M.

